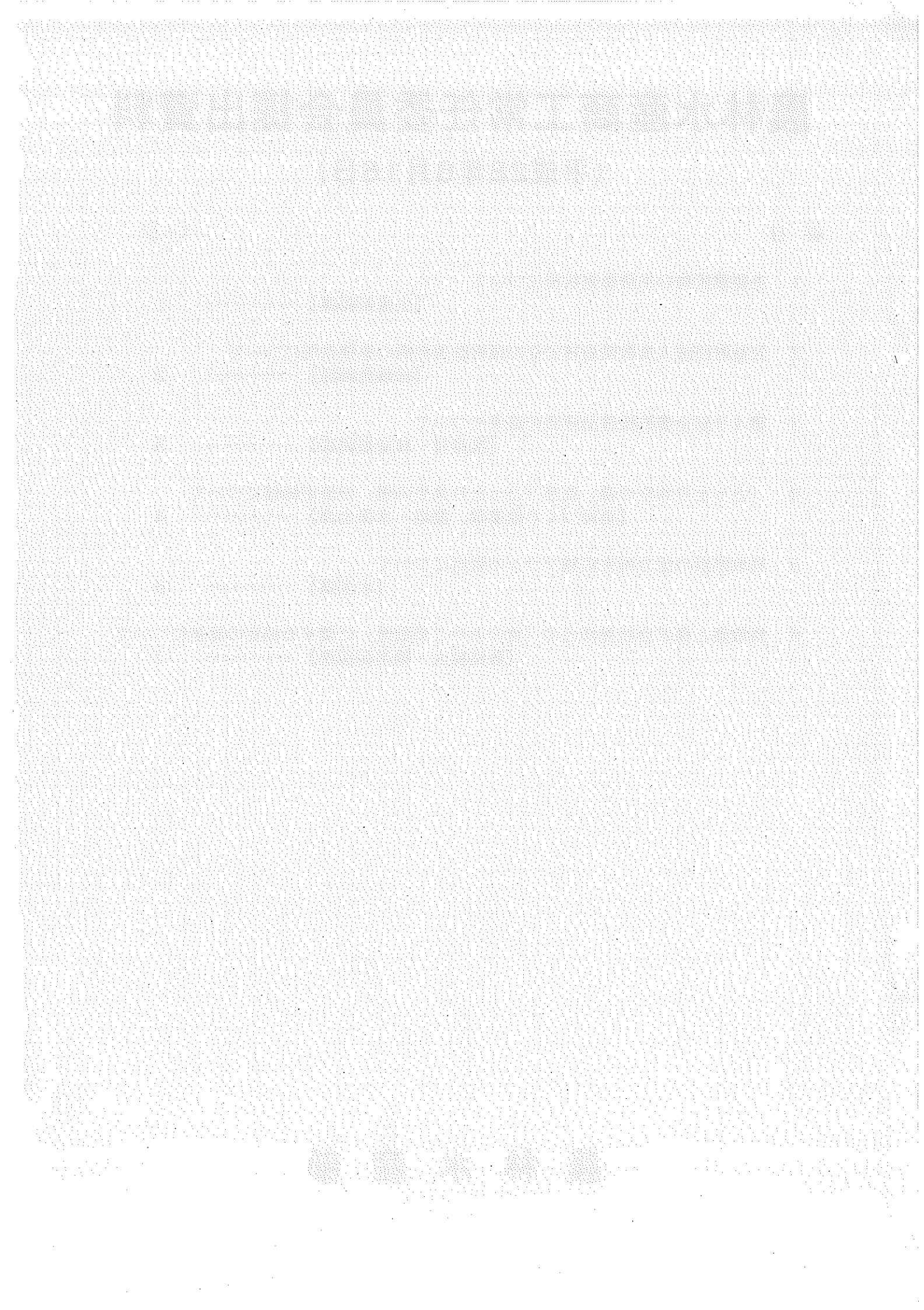


# 農林水産商工常任委員会提出資料

(平成28年6月16日)

項 目	ページ
1 主要農産物の生産販売状況について 【生産振興課】 .....	1
2 公益財団法人鳥取県造林公社の経営改善計画の進捗状況について 【林政企画課】 .....	2
3 第49回全農乾椎茸品評会の結果について 【県産材・林産振興課】 .....	3
4 「とっとり共生の森」及び「とっとり共生の里」の協定締結について 【森林づくり推進課、農地・水保全課】 .....	4
5 鳥取県浜の活力再生広域プランの策定について 【水産課】 .....	6
6 鳥取県と株式会社光洋との「食のみやこ鳥取県」に関する協定の締結について 【販路拡大・輸出促進課】 .....	7

農 林 水 産 部



## 主要農産物の生産販売状況について

平成28年6月16日  
生産振興課

6月12日現在での主要農産物の生産販売状況について報告します。(全農とっとり販売速報より)

### 1. らっきょう

- (1) 栽培面積：186ha (前年比94%)  
→JAいなば114ha、JA中央70ha、JA西部2ha
- (2) 生育状況：暖冬で積雪がほとんどなかったため、停滞することなく順調に生育し、春先の適度な降雨もあったことで平年並以上の生育となった。
- (3) 出荷時期：初出荷は5月22日と前年より1日遅く、6月下旬で出荷終了予定。
- (4) 販売状況：本県より出荷の早い産地の不作傾向による品薄や、「鳥取砂丘らっきょう」のGI登録による他産地との差別化の影響で、過去最高の単価を更新中である。

区 分	5月21日～6月12日までの販売実績 (累計)		
	数量 (t)	単価 (円/kg)	販売金額 (百万円)
28年度	1,753	641	1,123
27年度	1,718	574	986
前年比	102%	112%	114%

### 2. すいか

- (1) 栽培面積：285ha (前年比100%)  
→大栄177ha、倉吉94ha、東伯8ha他
- (2) 生育状況：好天に恵まれ、ハウス、トンネル共に順調に生育した。4月下旬、5月上旬の強風と低温の影響でトンネルの一部で着果不良等が見られたが、全体としては大きな影響はなく、高品質なすいかに仕上がった。
- (3) 出荷時期：各産地の初出荷は前年より早くなった。  
→大栄6月1日 (前年6月2日)、倉吉6月1日 (前年6月4日)
- (4) 販売状況：数量、単価、販売額とも前年を上回っている。

区 分	6月1日～6月12日までの販売実績 (累計)		
	数量 (t)	単価 (円/kg)	販売金額 (百万円)
28年度	2,566	223	572
27年度	1,339	197	263
前年比	192%	113%	217%

### 3. 白ねぎ

- (1) 栽培面積：春ねぎ75ha (前年比104%)、夏ねぎ83ha (前年比105%)  
秋冬ねぎは集計中 (前年面積245ha)
- (2) 生育状況：春ねぎは、順調に生育したが、べト病と強風の影響で4月と5月の出荷が減少した。夏ねぎは5月中旬以降安定した天候が続く順調に生育している。
- (3) 出荷時期：春ねぎ初出荷は2月29日、夏ねぎ初出荷は6月1日と前年並み。
- (4) 販売状況：暖冬の影響で全国的に前倒し出荷となり、春ねぎ以降の出荷量が少なくなったが、単価は前年を上回っている。

区 分	4月1日～6月12日までの販売実績 (累計)		
	数量 (t)	単価 (円/kg)	販売金額 (百万円)
28年度	1,299	439	570
27年度	1,501	394	591
前年比	87%	111%	96%

### 4. 初夏どりブロッコリー

- (1) 栽培面積：164ha (前年比103%)
- (2) 生育状況：定植、生育とも順調に進んだが、4月16日から17日、5月4日から5日の強風で一部軸折れ、花蕾のスレ等が散見された。
- (3) 出荷時期：初出荷は4月26日と前年より5日早く、7月上旬で出荷終了予定。
- (4) 販売状況：全国的に前倒し出荷で、一時、飽和状態となったが、国産需要が高いことで単価は前年並みを維持し、販売金額は過去最高の前年を上回る見込み。

区 分	4月26日～6月12日までの販売実績 (累計)		
	数量 (t)	単価 (円/kg)	販売金額 (百万円)
28年度	1,271	375	476
27年度	1,246	369	460
前年比	102%	102%	103%

# 公益財団法人鳥取県造林公社の経営改善計画の進捗状況について

平成28年6月16日

林政企画課

平成25年2月に県及び(公財)鳥取県造林公社で策定した「経営改革プラン(H25～96年)」を基に(公財)鳥取県造林公社が作成した「第1期経営改善計画(H25～34年)」の進捗状況を報告します。

## 1 経営改善計画の進捗状況(平成27年度)

### (1) 収入間伐の推進

- ・計画を上回る、250ha・23,9千㎡の収入間伐を実施
- ・これにより、計画を上回る196百万円の販売収入を上げている。

【収入間伐の計画及び実績】

項	目	H25	H26	H27	H28	H29	小計	H30～34	合計
面積(ha)	改善計画	109	120	160	210	270	869	3,413	4,282
	実績	127	161	250					
	達成率(%)	117	134	156					
材積(fm3)	改善計画	6	9	13	17	22	67	283	350
	実績	6.4	13.6	23.9					
	達成率(%)	107	151	184					
販売収入(百万円)	改善計画	49	63	84	120	180	496	3,249	3,745
	実績	62	132	196					
	達成率(%)	127	210	233					

### (2) 経営改善の成果

- ・収入間伐による収入の増、経営の効率化の推進などにより、以下のとおり前年度と比較して、県への借入金等の依存率が低くなるなど、経営の改善は着実に進みつつある。

【補助金・借入金等の財政的依存度、管理費比率の比較】

(単位：%)

区分	H25	H26	H27	計算式	説明	
県への財政的依存度	87.8	77.3	74.2	$\text{イ}/\text{ア} \times 100$	収入額に占める県からの補助金・借入金の割合(財政上の県との関わりの指標)	
借入金依存率	総借入金	46.0	30.8	27.4	$\text{ウ}/\text{ア} \times 100$	収入額に占める借入金の割合(財務基盤の健全性の指標)
	うち県借入金	(43.9)	(26.3)	(23.2)	$\text{エ}/\text{ア} \times 100$	
管理費比率	20.5	15.1	15.4	$\text{カ}/\text{オ} \times 100$	経常費用に占める管理費の割合(経営の効率性の指標)	

【収入額、経常費用及び主な収支項目】

(単位：千円)

項目	H25	H26	H27	差引(H27-H26)
ア 収入額	738,570	987,375	1,019,040	31,665
イ うち県からの収入(補助金・借入金)	648,813	762,753	756,618	△6,135
ウ うち日本政策金融公庫含む総借入金	339,680	303,785	278,986	△24,799
エ (うち県からの借入金)	(324,080)	(259,985)	(236,036)	△23,949
オ 経常費用(事業費・管理費)	455,794	664,473	685,165	20,692
カ うち管理費	93,287	100,020	105,357	5,337

## 2 今後の県の取組み

- (1) 引き続き、経営改善計画を着実に進めていくため、県と造林公社で構成する「鳥取県造林公社経営改革推進プロジェクトチーム(H25設置)」により、進捗状況の検証や課題への対応策を検討・実施していく。
- (2) 全国の林業公社を有する府県で組織する森林県連合及び県単独での要望活動を通じ、経営改革プラン実現のために必要な制度改正等を、国に対し要望していく。
  - ・造林公社に対して県が行う利子補給及び無利子貸付に係る利子負担分についての特別交付税措置の継続及び拡充
  - ・国の融資制度である日本政策金融公庫資金について、任意の繰上償還の受け入れ等利息負担軽減

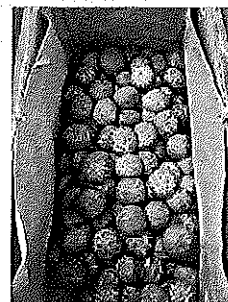
## 第 4 9 回全農乾椎茸品評会の結果について

平成 28 年 6 月 16 日  
県産材・林産振興課

6 月 1 5 日に埼玉県久喜市で開催された第 4 9 回全農乾椎茸品評会において、本県から出品した乾椎茸のうち 9 点が農林水産大臣賞等を受賞し、その結果、全農鳥取県本部が団体優勝したのでその概要を報告します。

### 1 品評会の概要

- (1) 日時・場所      審査 (6 月 9 日) 全農乾椎茸事業所 (埼玉県久喜市樋ノ口大野 50-5)  
                         展示・表彰 (6 月 15 日) 久喜総合文化会館 (埼玉県久喜市下早見 140)
- (2) 主            催      全国農業協同組合連合会
- (3) 出 品 数      3 6 4 点 (うち鳥取県 6 1 点)
- (4) 入 賞 数      4 5 点 (うち鳥取県 9 点)
- (5) そ の 他      今年は全国的に収量が多く品質も良いなか、本県  
                         においては収量で前年比 9 割であったにもかかわらず  
                         高い品質が維持されていることが評価された。



森 氏 出 品 物 (大葉厚肉)

### 2 受賞結果

- (1) 個人表彰 9 点入賞

賞 名	規 格	受 賞 者 名	市 町 村 名
農林水産大臣賞	大葉厚肉	森 栄伸	鳥取市
林野庁長官賞	中葉中肉	上谷 春	日野町
林野庁長官賞	上どんこ	米田 一成	倉吉市関金町
全農会長賞	上どんこ	影山 千世子	伯耆町
全農会長賞	上どんこ	茂上 敏章	鳥取市佐治町
(一財)日本きのこセンター理事長賞	中葉厚肉	渡辺 健	日南町
全農全和会長賞	大葉厚肉	植田 喜雄	鳥取市青谷町
全農全和会長賞	大葉中肉	大家 繁博	鳥取市用瀬町
全農全和会長賞	上どんこ	長谷川 和郎	鳥取市青谷町

- (2) 団体表彰      優勝：全農鳥取県本部 (準優勝：全農愛媛県本部)

【過去の入賞状況】

1 個人入賞  
平成 24 年度：1 2 点    平成 25 年度：1 1 点    平成 26 年度：8 点    平成 27 年度：8 点

2 団体優勝・・・過去 4 回優勝

① 第 40 回 (H19) ② 第 44 回 (H23) ③ 第 45 回 (H24) ④ 第 47 回 (H26)

### 《参考》

○乾椎茸

販売単価は一時の低迷から持ち直してきた。

(H20：4, 587 円/kg→H25：2, 630 円/kg→H27：4, 515 円/kg)

○生椎茸

県産ブランド「鳥取茸王」は、東京築地市場で初値 13, 000 円/kg を付けるなど評価が高まっている。

# 「とっとり共生の森」及び「とっとり共生の里」の協定締結について

平成28年6月16日

森林づくり推進課

農地・水保全課

サントリーホールディングス株式会社（本社：大阪市）は、県、江府町と「とっとり共生の森」森林保全・管理協定を締結し、江府町のサントリー「天然水の森 奥大山」（126ha※）において森林保全活動を実施されているところですが、このたび、同町内の森林において新たに区域を拡大し森林保全活動を展開されることとなりました。

また同時に、同町御机集落の農地を対象に「とっとり共生の里」にも取り組むこととなり、次のとおり合同で協定調印を行うこととなりました。

（※「とっとり共生の森」で126ha、国有林を含む「天然水の森 奥大山」全体では359ha）

## 1 協定調印式

- (1) 日時 7月2日（土）午後1時～1時40分
- (2) 場所 休暇村 奥大山  
（江府町御机字鏡ヶ成709-1）

## 2 「とっとり共生の森」の概要

- (1) 調印者 サントリーホールディングス株式会社  
代表取締役社長 新 浪 剛 史  
江府町長 竹 内 敏 朗  
鳥取県知事 平 井 伸 治

### (2) 協定目的

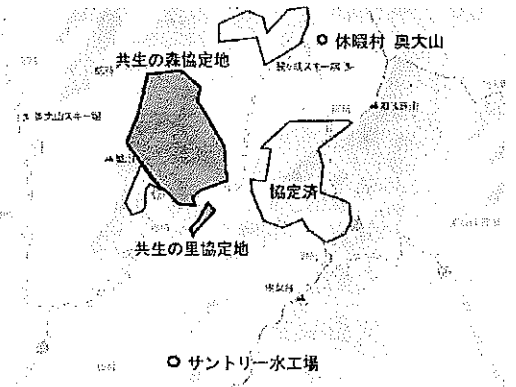
- サントリーホールディングス株式会社は、育林活動により森林環境の保全に貢献するとともに、地域社会との交流により地域の発展に寄与し、県と町はサントリーホールディングス株式会社の活動に対し協力する。

### (3) 協定内容（今回拡大する場所）

- 協定期間 平成28年7月2日から平成58年7月1日（30年間）
- 森林の所在 日野郡江府町大字御机字東山710番1
- 森林の面積 約50ha
- 土地所有者 日野郡江府町米澤財産区
- 活動内容 森林整備（除伐・ササ刈払い・植栽等）、環境整備（作業道・作業歩道開設等）

### 【サントリーホールディングス株式会社の取り組み】

- ・サントリーの工場所在地周辺を中心に、サントリー「天然水の森」を展開。
- ・全国13都府県18カ所において森林保全活動を実施中。
- ・サントリー「天然水の森 奥大山」126ha（H19.6月及びH22.8月「とっとり共生の森」協定締結済）においても、小学生を対象とした「森と水の学校」や「ブナの実プロジェクト」を展開しているほか、間伐材やナラ枯れ予防伐採木を搬出し有効利用するなど多様な取り組みを行っている。



### 3 「とっとり共生の里」の概要

(1) 調印者 御机集落区長 伊達吉章  
 サントリーホールディングス株式会社  
 代表取締役社長 新浪剛史  
 江府町長 竹内敏朗  
 鳥取県知事 平井伸治

#### (2) 協定目的

中山間地域の農村と企業が連携し、農地や農業用水路などの地域資源を活かす  
 つつ水質浄化機能を高める土壌保全活動等を行い、農産物の生産や加工品づくり  
 などにも取り組み、農村と企業の交流を通して農業・農村の活性化につなげてい  
 く。

#### (3) 協定内容

○協定期間 平成28年7月2日から平成33年3月31日（5年間）

○活動内容(案)

御机集落とサントリーホールディングス株式会社が、次の活動を協働で実施します。

- ① 遊休農地再生と保全管理（耕耘、草刈、土壌流出防止、等）
- ② 再生農地での作付け・収穫作業（菜種、蕎麦等）
- ③ 自治体等と協働し、再生農地で収穫した農産物等の「奥大山ブランド」化

#### (参考) 共生の里の取組状況

地区名	市町名	協定締結日	協定者
とっとり共生の里（5地区）			
船岡地区(※)	八頭町	H28. 3. 12	鳥取県生活協同組合ほか 10 団体
五月田地区	智頭町	H27. 3. 20	智頭町五月田集落及び鳥取銀行
余戸地区	鳥取市佐治町	H27. 3. 20	佐治町余戸集落及び旺方トレーディング
小船地区	若桜町	H27. 3. 20	若桜町小船集落及び因幡地区郵便局長会
菅福地区	日野町	H27. 8. 8	日野町菅福地区連合自治会及び伯耆地区郵便局長会
むら・まち支え合い共生の里（4地区）			
屋住地区	鳥取市用瀬町	H27. 5. 18	用瀬町屋住集落及び鳥取市醇風地区公民館
河本地区	鳥取市佐治町	H27. 5. 18	佐治町河本集落及び鳥取市富桑地区公民館
福園地区	鳥取市佐治町	H28. 3. 25	佐治町福園集落及び鳥取市城北地区まちづくり協議会
日光地区	伯耆町	H28. 5. 28	伯耆町日光地区協議会及び米子市義方校区自治連合会

※船岡地区の協定締結日は、2期目の活動協定を締結した日です。

## 鳥取県浜の活力再生広域プランの策定について

平成28年6月16日  
水産振興局水産課

国が平成27年度緊急経済対策で新たに創設した水産業競争力強化緊急事業の採択要件となる「鳥取県浜の活力再生広域プラン」（広域水産業再生委員会策定）について、平成28年6月10日付で国の承認が得られたので、その概要を報告します。

### 1 策定目的

今後の鳥取県の水産業を担う中核的漁業者への代船建造支援や、広域的な拠点施設の整備等を行うことにより、持続可能な収益性の高い水産業への転換を図る。

### 2 競争力強化の取組方針

(1) 中核的漁業者への代船建造支援に関する基本方針

- ① リース船（省エネ型・建造コストダウンモデル漁船）の導入により漁業経費を節減
- ② 漁船への省エネ型機器や多様な漁法の導入により漁業コストを削減し生産性を向上

(2) 広域的な拠点施設の整備に関する基本方針

- ① 境港高度衛生管理型漁港・市場を整備して国際競争力を強化し輸出を促進
- ② 拠点港である鳥取港に燃油供給施設を整備
- ③ 栽培漁業センターの種苗生産施設を強化し新しい養殖業や栽培漁業を推進

### 3 主な取組目標

各地域の「浜の活力再生プラン」の取組と併せて漁業所得の1割以上の向上をめざす。

(1) 中核的漁業者への代船建造支援に関する主な取組目標

【リース方式による漁船の代船建造目標：16隻】

リース事業体	H28	H29	H30	H31	計
県漁協	2隻	5隻(うち沖底1)	1隻	1隻(沖底)	9隻
赤碕漁協	1隻	1隻	1隻	1隻	4隻
田後漁協		1隻(沖底)	1隻(沖底)	1隻(沖底)	3隻

※リース額の1/2国補助

(2) 漁業収入の拡大に向けた主な取組目標

主な取組	基準年	目標年
魚価の向上をめざしてブランド化・活魚の取組を推進	平成23-25年 (平均：円/kg)	平成32年 (平均：円/kg)
	キジハタ 1,807円	2,169円
	白いか 700円	770円
	サワラ 777円	932円
	ヒラメ 1,328円	1,594円
	松葉がに 3,211円	3,854円
高い魚価が見込めるキジハタを放流	平成25年 2.4万尾	平成32年 10万尾

### 4 参考

(1) 策定組織

広域水産業再生委員会

設立年月日	平成28年3月11日
代表者	景山一夫
委員	岩美町地域水産業再生委員会会長（榎本町長） 鳥取県中部地域水産業再生委員会（大磯県漁協専務） 鳥取県西部地域水産業再生委員会（祇園赤碕町漁協組合長） 境港市地域水産業再生委員会（景山県漁協組合長） 鳥取県信用漁業協同組合連合会（吉本常務理事） 鳥取県漁業信用基金協会（佐竹専務理事） 鳥取県農林水産部水産振興局水産課長

(2) 浜の活力再生プラン

県内を4つの地域に分け、個々の地域の現状に合わせて「将来自分たちのあるべき姿」「取り組むべき課題」を地域毎に考え「浜の活力再生プラン」として平成26年度に策定したものであり、地域の漁業所得が5年間で1割以上アップすることを目標とし、それを実現するための収入向上の取組やコスト削減の取組などを整理し、プランとしてまとめている。

区分	関係市町村	所得向上目標(千円)	
		基準年(H25)	目標年(H30)
岩美地域	岩美町	1,149,114	1,278,474(+11.3%)
中部地域	鳥取市、湯梨浜町	628,070	723,559(+15.2%)
西部地域	琴浦町、大山町、米子市	309,926	371,504(+19.9%)
境港地域	境港市	1,522,503	1,984,555(+30.3%)
	4地区計	3,609,613	4,358,092(+20.7%)



## 鳥取県と株式会社光洋との「食のみやこ鳥取県」に関する協定の締結について

平成28年6月16日

販路拡大・輸出促進課

本県と「食のみやこ鳥取県」に関する協定を結んでいたイオンマーケット株式会社関西地区ピーコックストア店舗の経営統合に伴い、業務を継承した株式会社光洋と次のとおり協定を締結します。この協定の締結により、協定の内容が及ぶ店舗数は、関西地区において、これまでの30店舗（ピーコックストア）から82店舗となり、関西地区における県産品の販路が大幅に拡大することとなります。また、今回の協定の締結を記念し、約70店舗で、すいか、天然クロマグロをはじめとする鳥取県フェアを開催します。

### 1 企業概要

- (1) 名 称 株式会社光洋（こうよう）
- (2) 代 表 者 代表取締役社長 平田 炎（ひらた あつし）
- (3) 本社所在地 大阪市北区北堀江3丁目12番23号三木産業ビル
- (4) 資 本 金 1億97百万円
- (5) 年間売上高 880億円（2016年2月実績）
- (6) 従業員数 1,300人（2016年3月現在）
- (7) 店 舗 数 82店舗（2016年6月現在）〔関西地区（大阪府、兵庫県、京都府、奈良県、和歌山県）のスーパーマーケットコーヨー、ピーコックストア、マックスバリュ〕

### 2 主な協定の内容

- (1) 鳥取県フェアの開催（ピーコックストア千里中央店で12月を除く毎月3日間）
- (2) インショップ（トリピーショップ）の設置（ピーコックストア千里中央店内）
- (3) 鳥取県が育成した新品種および鳥取県の事業者の新商品のモニター販売
- (4) 鳥取県からの研修生の受け入れ
- (5) 「食のみやこ鳥取県」の情報発信

### 3 鳥取県フェアの開催

- (1) 日 時 6月25日（土）、26日（日）
- (2) 場 所 約70の店舗〔関西地区（大阪府、兵庫県、京都府、奈良県）のスーパーマーケットコーヨー、ピーコックストア、マックスバリュ〕
- (3) 主なイベント
  - 6月26日（日）コーヨー南森町店（大阪市北区）において、知事のトップセールスを実施。（鳥取すいかの試食PR、天然クロマグロ、白ねぎ、ねばりっこなどの宣伝販売）
  - コーヨー山田店（吹田市）において、県内事業者、全農とっとりによる試食宣伝販売を実施。（参加事業者等：鳥取県産魚PR推進協議会（天然クロマグロ）、（株）大新（境港産ブリ・サバフライ）、（株）ハイセイ（あごふりだし）、大山ハム（株）（ハム等）、（株）鳥取県食（米）、全農とっとり（大菜すいか、白ねぎ））

### 4 調印式

- (1) 日 時 6月26日（日） 11時40分～11時55分
- (2) 場 所 リーガロイヤルホテル（大阪府大阪市北区中之島5-3-68）2階 桜の間
- (3) 署名人 株式会社光洋代表取締役社長 平田 炎、鳥取県知事 平井 伸治

